

# ARTWALL OPENNING SPECIAL EXHIBITION

## 知る、 見る、 表現する

劇場と図書館が併設されている

なでしこ芸術文化センターの

共有部に広く位置するアートウォールは、

「知と芸術をつなぐ」というコンセプトを掲げ、

通常時は、図書館と劇場をつなぐ存在です。

お披露目となるオープニング企画では、

このコンセプトの視点を、施設から街へ変えて、

地域の歴史や人々の営みという街の「知」と

アーティストの作品という「芸術」をつなぎます。

## 2022

# 10.01 SAT > 10.31 MON

主催：西神中央ホール

展示作品

- 01 神戸のアーティストによる作品展  
作家 | 和田彩  
今と昔の西神中央をテーマにした写真展
- 02 作家 | 岩本順平  
神戸市埋蔵文化財センター
- 03 神戸芸術工科大学出身の若手作家による集合展  
作家 | 藤森太樹 みしまあきひろ 葛本大樹 國久真有 岩本紀羽

### 和田彩(書家)

2017年在ポーランド日本大使館での個展をはじめ、2019年にはポーランドと日本の国交100周年事業として、ポーランドのクラクフ国立日本美術・技術博物館 Manggha及びワルシャワ国立THE ASIA AND PACIFIC MUSEUMで個展。独自の東洋と西洋を合わせるような前衛書作品を次々と発表する。2019年神戸市主催のBE yond KOBE居留地イベントにて書道パフォーマンス披露、2020年から動画配信事業を行うなど幅広く活動。2018年神戸市文化奨励賞受賞、2021年第68回「半どんの会」文化賞受賞、神戸芸術文化協議会、兵庫県書作家協会理事、飛雲会理事、六彩舎主宰。

### みしまあきひろ

海と山の間にある場所、神戸で生まれ育ち描くイラストレーター。絵を通して音楽・詩・映像・アート・デザインなど様々な表現と共に紡ぎ、いつの日か人間が洞窟に絵を描いたように日々の営みに色を添えるように。第56回県展デザイン部門兵庫県立美術館賞受賞、大本山須磨寺にてライブペイントを実施、無印良品にてワークショップ講師担当、AnyKobe公募展 KAWACHI画材賞受賞、大本山須磨寺にてライブペイントを実施、Street Tableにてアートイベントを開催。

### 岩本順平(写真家/プロデューサー)

写真家・プロデューサー。2012年に写真家として独立。2014年から新長田の再開発エリアで劇場を運営するNPO法人DANCE BOXに参加。PRディレクターとして主催公演などの広報を担当。2017年よりデザインやアートの地産地消による地域の活性化を目的に長田の仲間たちとDOR(ドア)を設立。神戸市ふるさと納税のPRディレクション、KOBE URBAN FARMING、シタマチコウベ、KOBE CREATORS NOTEなどのプロデューサー、ディレクション、撮影などを担う。

### 岩本紀羽

1989年、大阪生まれ。2014年、神戸芸術工科大学大学院 芸術工学研究科修了。2014年、金沢卯辰山工芸工房入所。2016年より、大阪にて制作活動を続けている。2015年、日本クラフト展U35賞受賞、金沢市工芸展金沢市工芸協会会長賞受賞。2016年、TALENTE2016/ドイツ・ミュンヘンへ出張。機能と鑑賞という要素に着目し、金属表現の可能性を日々模索しながら制作しています。

### 小國陽佑(ディレクター)

1984年兵庫県豊岡市生まれ、神戸市在住。NPO 法人芸法理事・ディレクター。長田区駒ヶ林町を拠点に、地域に根ざしたさまざまな社会活動を通じて若手アーティストの表現活動の支援を行う。下町芸術祭や学園前アートフェスタ、生野ルートダルジャン芸術祭など関西圏にて様々な芸術祭やアートプロジェクトのディレクターを兼任。

### 藤森太樹

1988年、神戸市生、神戸市在住、ペン画家。顔料インクのペンを主材に墨や透明水彩などの画材を合わせて用いた様々な表現のペン画、細密画を制作。出生地である神戸を拠点として国内外で展示・発表している。作家にとってペンによって描かれる無数の線は「言葉」、墨や透明水彩の生み出す滲みや色彩は「感覚」を象徴しており、言葉により構築された社会とそこから隔絶された絶対的な感覚を伝える為の制作活動を行なっている。

### 國久真有

大阪生まれ。関西を中心に活動。ロンドン芸術大学 セントラルセントマーチンズで学び、神戸芸術工科大学大学院芸術工学研究科総合アート専攻修了。2018年、第22回岡本太郎現代芸術賞特別賞。2020年、Young Creators Award 2020グランプリなど、各地で個展を開催している。身体を軸に身体から現れる円を描いています。自身がそこから無くなり一番描かない方法とした光の表現です。

### 葛本大樹

1995年、兵庫県姫路市生まれ。2020年、神戸芸術工科大学大学院総合アート&デザイン専攻修士課程修了。「生命力の形」をテーマとし、主に生物をモチーフに金属を用いた作品を展開している。私の作品に共通した「線」で構成された造形は、記録された「時間」を示している。その積み重なる線は「生命の力」それ自体を体現する。生命に刻まれた時間やにじみ出すオーラを可視化し、目に見えない力の存在を読み解く。